

土と水を守り、活用するための農業研修がスタート！

2017年度の活動

モデル農家養成研修

- ・ 雨水の流れと土壌侵食、水・土の保全対策
- ・ 作物の科と輪作を活用した栽培計画
- ・ 研修内容の振り返りと農作業工程の収支計算

について、計3回の研修を実施しました。

また、研修後の課題の進捗状況の確認や次のアクションの打合せのためモニタリングを計7回実施しました。

「ファーマーズ・スクール」の整備と計画

プロジェクトを開始してから、実際に参加してくる農家の農地との距離や、研修施設の建設実効性の難しさから、「ファーマーズ・スクール」の位置づけを変えました。

■成果

研修に参加した農民たちが、上記モデル農家養成研修で扱った農業をする上での基本的な事項を理解し、以下を実践するようになりました。

- ・ より効率的、効果的な水やり方法の導入
- ・ 水と土を保全する対策を住民（研修未参加者）と共有し、研修生の畑で対策を実行
- ・ 作物の科に留意した効率的な栽培計画の策定

■課題

地域資源へのアクセスの制約（土地の所有権の問題など）や、それぞれの村で今後、どのように知恵や実践を普及させていくかが、課題として見えてきました。

2018年度の活動計画

ファーマーズ・スクールの整備

地域資源を活用した農業モデルを実践・普及する場として、ファーマーズ・スクールを整備していきます。

モデル農家養成研修

地域資源を活用した農法を実践し、持続的な農業経営を行える青年を養成し、指導員養成研修を実施していきます。

指導員の養成

自分たちの村や他の村の住民に対して研修を実施する指導員を養成していきます。

PROJECT DATA

地域資源の循環による農村コミュニティ生計向上プロジェクト～農村青年層のための「ファーマーズ・スクール」

どこで セネガル共和国ティエス州ンブル県ンゲニエヌ行政村

だれと 16～24歳までを中心とした青年300人
（JICA「草の根技術協力事業パートナー型」）

なにを セネガル農村部に住む主に若年層の農業従事者が、自分たちの地域において、自然資源を活用しながら農業で生計を立てられることを目標とした事業。水や土を守りながら農業の効率性を上げる知恵を共有し、実践を定着・普及させていくために、研修や農業実践の場の提供（ファーマーズ・スクール）を通して、農民たちの活動を支援します。